

NEWS おおいた終活フェアで 語り部が大集合！

おおいた最大級の終活イベントが11月6日にJ:COM ホルトホール大分で開催！矢野大和さんの人情話や、カボスひろしプロデュースの『大分の語り部』コーナーもあります。この機会に生の語りをぜひ！

おおいた 終活 フェア

入場無料

10:00 社会福祉士リレートーク
終活 × ソーシャルワーク × 葬送
「生と死をつなぐ物語り」





吉川美津子
アルック
(東京)

川上恵美子
ファイング
(岡山)

茶屋元崇喜
判田台会館・備庵
(大分)

11:30 郷土の語り部大集合
「地産地笑」の人情話！



- 矢野大和【県南落語組合会長】
- カボスひろしプロデュース「大分の語り部」
- 広田美茶子【絵説き吉四六さん語り】
- 古谷美和【臼杵・妖怪ばなし】
- 渡邊和己【ねんど人形動画】

ファインの終活

今年は「お寺」が舞台♪
和顔愛語 de 縁つなぎ



令和元年 11/6
10:00~15:30 水
J:COM ホルトホール大分
大ホール・エントランス
大分市金池南1丁目5番1号
公共交通機関でお越しください

予約不要

司会：カボスひろし
「果汁しぼります！」



13:00 お元気シニアの大文化祭
今年もバワフル14組♪

マイクパフォーマンス
ヒップホップダンス
フラダンス・鶴崎踊り
ロシアダンス・歌謡
津軽すこっぴろ三味線
舞踊・どじょうすくい
ギター&キーボード



15:20 おたのしみ大抽選会

- 渡邊和己「ねんど人形写真展」
神話・民話・伝承でみる「あの世とこの世」。
日本人の豊かな死生観に触れてください！
- OITA CITY PRESS アーカイブス展
「昭和・平成・令和」3つの元号をタイムスリップ！
大分団地新聞の紙面で大分の歴史を振り返ります。

同時開催

シニアお役立ちブースも出展します！

協賛：家族葬の判田台会館・家族葬の備庵・大分団地新聞社
後援：大分合同新聞社・OBS大分放送・TOSテレビ大分
OAB大分朝日放送・J:COM大分ケーブルテレビ

主催：おおいた包括ケアネット・ファイン
お問い合わせ：0120-08-1357 (ホルトホールより)
http://www.oitafine.jp
事務局：大分市金池南1-5-1 コレジオ大分201

おおいたの 第1回 ねんど人形写真館 豊後高田の鬼の石段



この写真は2015年10月に大分県豊後高田市の熊野磨崖仏（くまのまがいがぶつ）で撮影をしました。平安時代に作られたと言われている磨崖仏に、鬼が作ったとされる荒々しい階段が残っています。鬼が磨崖仏を見て驚いている様子を撮りました。秋は紅葉が綺麗な所なので、これからの季節にオススメです。（渡邊和己さんの公式サイト→）



大分の語り部とは？

大分の文化を子ども達に語り継ぐオウンドメディア。カボスひろしが編集長を務め、隔月発行のこのフリーペーパーをはじめ、WEBサイトやYouTube動画も活用し、アナログとデジタルをミックスさせて情報を発信しています。

カボス編集長のつぶやき

11月6日の「終活フェア」で大分の語り部コーナーをプロデュースさせていただきましたことになりました！語り部の皆さんの声をライブでぜひ！（カボス）



大分の語り部 vol.04

発行日：2019年10月1日（火）
制作：Cabooosu（カボス）
編集長：カボスひろし（大分県産タレント）
WEB：https://www.oita.link/



大分と世界&未来をつなぐオウンドメディア これ一冊であなたも“大分の語り部”

OITA NO KATARIBE

大分の語り部
vol.04
2019.10-11

**笑って元気！
大分の真打ち**



**大分の口演家
やの たいわ
矢野大和**

矢野大和さん特集！

矢野さんが思う
大分の魅力とは？
語り継ぎたいことは？
たっぷりお話を
聞きました！

おおいた観光特使・県南落語組合会長の矢野さん特集！



はじめは
はじめ



大分の語り部 編集長
カボスひろし



はじめは
はじめ

ねんど人形写真作家
渡邊和己さんの新コーナー
ねんど人形写真館



豊後高田の鬼の石段編、詳しくは4面をご覧ください。

¥0 TAKE FREE ご自由にお取りください

次号は 2019年12月1日発行

ご自由にお取りください



インタビュー前のカボス編集長メモ

話し始めてから終わるまで身振り手振りを交えてパワフルに話し、笑いの渦を巻き起こす矢野大和（やのたいわ）さんの口演会。最初に拝聴した時は衝撃かつ笑撃的でした。話の中に笑いを入れる事から「講演」を「口演」と題して全国各地で口演活動を行っている矢野さんの現在・過去・未来をたっぷりお伺いします！

高校時代からの落語好き

ー カボス！今日はよろしくおねカボします。年間400回の口演活動を行っている矢野さんの話す原点は何でしょうか？

矢野 落語ですね。高校生の頃から落語を始めて、好きが高じて『県南落語組合』を立ち上げ、今では東京から落語家さんを大分に呼んで寄席もやっています。

ー 矢野さんが一番好きな落語家さんは誰ですか？

矢野 人間国宝・三代目桂米朝さんです。米朝さんが話す



『地獄八景』を高校生の時に聞いて「この人はすごい！」と思いました。古典をそのまま話すのではなく、地獄の旅路に現代を反映させ新作落語のように、80分間話す姿に惚れましたね。ただの笑い話で終わるのではなく知的なところが入っている点が好きです。

人生を変えた町長の言葉

ー 口演活動はどうやって始まったんですか？

矢野 私は大分県宇目町の鷹鳥屋神社の宮司の長男として生まれ、現在も神職ですが、田舎のお宮では生活できないので、宇目町役場に就職したことがきっかけになっています。役場では最初は教育委員会の生涯学習の仕事を担当していましたが、続いて

任命された仕事は宇目町に新しくできた道の駅「うめ」の初代店長。自分なりに店長として名物メニューを考案したり日々頑張ったこともあり、黒字経営が続いていたある日、当時の小平町長から「あんたは話がうまいけん役場に来なくて外に出よ！」と言われました。

ー 外に出る！？

矢野 町の宣伝のために、外に出て話しをしてこいということですね。それから営業を中心とする観光大使となり口演活動がスタートしました。50歳を節目に佐伯市役所は退職しましたが、口演活動は今でもずっと続けています。

観光資源はズバリ人！

ー 2011年には「おおいた観光特使」となって宇目町や佐伯市だけでなく、大分県の



魅力を全国の皆さんに伝え続けている矢野さんが思う大分の魅力って何ですか？

矢野 まず「方言」が魅力的ですね。大分弁の響きが好きなので、どこに行っても大分弁でしゃべっています。あと大分に限らずですが、地域の魅力は温泉や料理などもありますが、やっぱり「人」だと思います。以前、うちの街の何気ない通学路の風景を『たかくんの通学路』と題して笑い話にしたら、「その話の通学路が見たい！」とツアーができたことがありました。どこにでもある普通の道が人気になっている、と話題になり福岡のRKB毎日放送が「たかくんの通学路」をテーマに番組を作ってくれたりしました。

ー 何気ない場所でも、たかくんという人を通して伝えると魅力的になり行きたくなるということですね！

矢野 笑い話は人を伝えることですから。地域も人を伝えるべきだと思います。人は人で元気になって、人は人に会いに行く。茶屋があったとして、そこに名物おばちゃんが

いたら会いに行きたくなるものです。おみやげ品などはどこにでもありネットで買うことも出来ますが、「あのおばちゃんがおもしろい」となったら会いに行きたくなります。落語も地域も魅力は「人」ですね。

語り継ぎたい親父の遺言

ー 「大分の語り部」では、次の世代の子ども達が、未来を元気に生き抜いていくための生きる糧となるような、語り部達の智慧を伝えていきます。矢野さんが次の世代に語り継ぎたいことを教えてください！

矢野 私自身が生きる指針としている「親父の遺言」ですね。3つありまして、まず1つ目は「稼いだ以上に使うと借金になる」ということです。まあ文字通り当たり前のことですが（笑）、お金に対する考え方が凝縮されています。2つ目は「女は叩くな」です。これもずっと守っています。私の奥さんに聞いてもらったら本当だと言うことが分かります！3つ目は「頭は

ハゲるが頑張っちくりい」です。親父の頭がハゲていたから、息子の自分もハゲるだろうと思っての言葉ですね。親父の予言通り、今ではすっかり親父のような頭になりました（笑）。

ー お金のこと、夫婦関係のこと、受け継ぐことなど、時代を超えて生きる糧になりそうな3つの助言ですね。

お宮で寄席をやりたい

ー 今後の目標は何ですか？

矢野 あと10年は全国を回って口演活動が続けたいですね。75歳ぐらいになったらお宮に20畳ぐらいの寄席部屋を作って、月に1回寄席をやりたいと思っています！落語で人生を楽しくさせてもらったんで、自分が楽しんだ分、多くのおみなさんにも落語を楽しんでもらえるように取り組んで行きたいですね！

ー これからもたくさんの楽しいお話を聞かせてください！今日はありカボうございました。

（聞き手：カボスひろし）

